



5年  
林 みづきさん

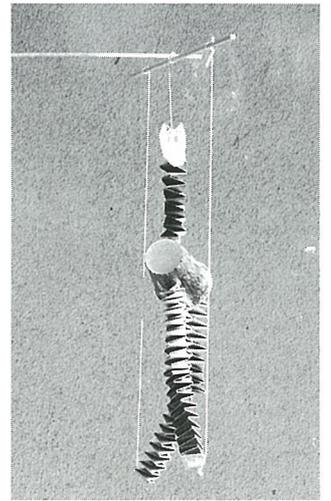


『かれたひまわり』

※光があたっている  
ようにぬるところ  
がむずかしく、ひ  
まわりがかわれたよ  
うにするところが  
たいへんでした。



3年  
伊藤ちひろさん



『紙ばねのおもちや』

※紙ばねを一つ一つ  
ていねいに折りま  
した。糸を通すの  
が、むずかしかつ  
たです。



6年  
越川 頼文くん



※「制」が一番むず  
かしく、バランス  
がとれるようにな  
るまでに何度も練  
習をしました。



4年  
鈴木 匡くん



『インテリアボックス』

※ドラエモンの顔と  
カッターがむずか  
しく、きょうりゆ  
うもどんな色にす  
るか考えました。

ひかり俳壇

大木 静波子 (篠本二区)

柿紅葉 白壁土蔵彩りぬ

白壁の土蔵をバックに、見事な紅葉を  
見せる柿の葉。  
水彩画の世界でもある。

布施 和代 (二又)

天辺の柿に長竿もてあまし

長い竿に足の踏ん張りが効かない。そ  
んな年齢では、と自問自答しながら再び  
挑戦。

鈴木 都根 (橋場)

かちかちに干上る蛙鴟の贅

尖った枝先に蛙やトカゲの串刺しを見  
かける。これが贅であり鴟の貯蔵庫で  
ある。

土屋 好 (虫生)

灯の下に子等を待たせて柿を剥く

膝小僧をキチンと揃えて待つ子供達の  
視線は一樣に祖母の手に据えられて  
いる。

土屋 義昭 (虫生)

往来を見守る柿のうすばこり

思わず微笑を誘われる。それで居て哀  
歎も漂っている。

『短評』 椎名しげる